

大学英語教育における AI チャットボット (ChatGPT) の導入効果と問題点

古藪 麻里子 (東洋大学)

大学英語教育では、文法・語彙チェックを超え、学習者の論理的思考やメタ認知を促す対話的フィードバックが求められる一方、対話的支援を実現しうる技術として注目される生成 AI を活用したライティング支援の効果や最適な指導法は、まだ十分に解明されていない。本研究では、導入以前の 2022 年度のベースラインと比較しつつ、都内私立大学データサイエンス系学部 1 年生 (各年約 300 名) を対象に、必修科目「リーディング・ライティング演習」の授業内で ChatGPT を① 課題サポートのみ (2023 年)、② 課題サポート+トレーニングパートナー (2024 年) として活用し、その効果と課題を検証した。

ライティング課題平均点は年次ごとに上昇し、Kruskal-Wallis 検定で有意差、多重比較でも 2024 年が他年を上回った。加えて教員評価でも文章構成・論理性の向上が確認され、多ターン対話を通じた自己修正能力の促進が示唆された。しかし下位層学生には提案理解・反映困難例や、短いやり取りに留まる例も見られた。

結論として、本研究発表では、(1) 具体的なプロンプト例の提示、(2) ステップごとの解説と演習実施、(3) 活用マニュアルの提供、(4) プロンプトスクリーンショット提出義務化などの授業設計を組み合わせることで、生成 AI を用いたライティング支援の効果を最大化できる可能性を示唆する。生成 AI の活用は成果の質的向上と自律的思考力の促進に寄与することが期待され、今後はプロンプトエンジニアリングの改善や、活用に課題を抱える学習者への支援策の詳細な検討が求められる。

引用文献

- 岩中貴裕 (2023). 「英語教育における人口知能(AI)の活用—その可能性と大学における英語教育の将来についての考察—」『山口県立大学学術情報』16, 109-119.
- 古藪麻里子・藤城晴佳・町村貴子 (2024). 「英語ライティング課題における学習者の ChatGPT 利用状況調査」『JACET 授業学ジャーナル』4, 1-21.
- Li, C., Wang, J., Zhang, Y., Zhu, K., Hou, W., Lian, J., Luo, F., Yang, Q., & Xie, X. (2023). Large Language Models understand and can be enhanced by emotional stimuli. arXiv preprint arXiv:2307.11760. <https://doi.org/10.48550/arXiv.2307.11760>
- Shields, C. (2023). Opinion: Don't ban ChatGPT, use it as a teaching tool. Education Week. <https://www.edweek.org/technology/opinion-dont-ban-chatgpt-use-it-as-a-teaching-tool/2023/01>.